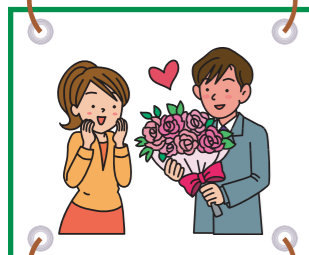




家庭では
家事・育児・介護など、家庭責任を男女が協力して担い、子育てについても昔ながらの慣習にこだわらず、個性を尊重し、子どもたちを社会の一員という意識をもって育てている・・・

職場では
意欲と能力などに応じて多様な職業の選択ができ、職場では男女が平等に処遇されている・・・



学校では
性別役割の固定観念にとらわれず、個性を尊重し、協力しあう子どもたちが育ち、社会参加活動などの体験重視の学習も充実、社会の一員としての考え方や態度が育っている・・・

地域社会では
男女があらゆる分野に参画し、自ら社会を築く意識を持ち、広い視野で豊かな社会づくりに努める一方、社会通念や慣習にとらわれず、一人ひとりがお互いの考え方を尊重し、性別や世代を越えた交流を通して、連帯と活力のある地域づくりに貢献している・・・

こんな風になってるといいね！



ストップDV(ドメスティック・バイオレンス)

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など、親密な関係にある(あった)パートナーからの暴力のことを言います。DVにもさまざまな形がありますが、どんな社会的な風潮や理由があったとしても、暴力をふるってよいことにはなりません。

精神的な暴力

- ・生活費を渡さない
- ・外出や電話を細かくチェックするなど

子どもを利用した暴力

- ・子どもに暴力を見せたり、子どもを危険な目に遭わせるなど

身体的な暴力

- ・殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたりするなど

性的な暴力

- ・性行為を強要する
- ・避妊に協力しない
- ・中絶を強要するなど

精神的な暴力

- ・大声で怒鳴る
- ・無視したり行動を監視するなど



*下野市では女性相談(DV)ホットラインが開設されました。
下野市女性相談(DV)ホットライン ☎0285-52-1168
相談時間：平日(年末年始を除く)午前9時から正午、午後1時から午後5時

*下野警察署 生活安全課 ☎0285-52-0110 24時間受付

ご意見等を募集しています！

男女共同参画情報紙「シェアリング〜わかちあい〜」に関する皆様方のご意見・ご感想を随時募集しています。また、男女共同参画に関して、身の回りで感じていることなどもお寄せください。お待ちしております。

編集後記

- ◇紙面を作る過程で様々な人や物事と出会い、その中で改めて男女共同参画とは、意見を一方的に押し付けるのではなく、互いの意見を尊重し合う、当たり前のことではないかと思いました。
- ◇「ヒエーッ！この質問は駄目なの？」アンケートの質問項目は大幅に変更、男女共同参画の道のりは遠いと感じた一瞬でした。これからも、女の活躍、男の動きを見つめ見守り、10年後を楽しみにしたいと思います。
- ◇人ごとのように感じるかもしれませんが、私たちの周りには様々な問題があることに、気づいていただけたらと思います。

＜編集委員＞ 松本文男、高木智子、上野秋江、山口容子、楡木悦夫、蓮見忠夫

企画・編集 下野市男女共同参画情報紙編集委員会

発行 下野市総合政策室

〒329-0492 栃木県下野市小金井1127番地

TEL：0285-40-5550 FAX：0285-40-5572 E-mail：sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

Sharing

シェアリング ~わかちあい~

★ きらめきインタビュー ★

男女がともに、仕事、家庭、地域において、様々な活動を自らの希望に沿って展開できる社会の実現が求められています。そこで、今回は市内において着物の着付け講師として、長年にわたりご活躍をされている清水美恵子さんにお話を伺いました。



〈清水美恵子さんプロフィール〉

元学校評議員、元母親クラブ連絡協議会会長、元学校PTA役員。
平成19年11月(財)民族衣装文化普及協会名誉総裁 三笠妃百合子殿下より『きもの功労賞』を受賞。

現在は、清水きもの着付け教室を営み、(財)民族衣装文化普及協会認定講師、ハクピ京都有着物学院師範会副院長、市民生委員児童委員(4期)として活動する傍ら、毎年ドイツから国際交流のため来日してくる学生に日本文化である「着物の体験」の講師をするなど、多方面でご活躍中です。

家庭と仕事、地域の活動について

子どもが幼稚園に入学する頃、限られた時間の中で着付けを習い始めました。学校や地域の教育にも、常に子ども達と一緒に向き合ってきました。そして、家で出来る仕事として着付け講師の資格を取得し、着付け教室を開講しました。

当時、会社一筋だった夫と、聴覚障害を持つ義姉と互いに理解、協力し合いながら家庭と仕事、ボランティア活動とを続けていくことが出来ました。

現在は、着付け講師を続けながら、市の国際交流や民生委員として活動しています。忙しく活動する私には、家族からの「お疲れ様」の一言が何よりの励みです。いつも心には「感謝」の気持ちがあります。地域の皆様へのご恩返しのもつもりで、どんな事にも前向きに取り組むように心がけています。

女性が社会参画するには

女性が働くうえで、家事や育児など手の抜けない部分もありますが、常に自然体で素直であること。自分の人生に目標をもって努力をする事、短くても濃密な時間を過ごす事が大切です。頑張っている姿や一生懸命な気持ちは、必ず人の心に響き、認められると思います。

次の世代の女性への一言

いつの時代も、見た目や形を気にすることではなく、中身が大切です。男だから女だからではなく、自分自身をしっかり持っていること。努力を惜しまず、何事も人のせいせず、素直さと明るさと前向きな姿勢、一歩ずつでも心がけ次第で素敵な自分になれるはずですよ。

◆インタビューを終えて

「頑張れば心が通じる」という清水さんの言葉が実感できました。常に「皆さんに支えられてやっています」との、感謝の心と思いやりを感じるインタビューでした。(担当：松本文男、山口容子)

タイトル由来

みんなが“わかちあう”大切さをもって、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていったらとの願いが込められています。